



THERMALISM
FORUM

第12回温泉フォーラム研究会開催のお知らせ

■日時 2010年2月19日(金)13:30~16:30

■会場 上野・東京文化会館4F 小会議室

東京都台東区上野公園5-45 TEL 03-3828-2111 JR 上野駅・公園口出て正面すぐです

■テーマ 「温浴文化の新潮流」-日帰り温泉施設と温泉地の協同■

温泉はわが国の伝統的な大衆生活文化ですが、近年、都市型温浴施設は益々興隆し、地方の温泉地は疲弊混迷するという産業構造に陥っています。大衆商品化されたサービス・習慣を限りなく取り込みコンビニ化した温泉旅館と温泉地。そこに非日常を売りものにした超高級旅館などが混在化し、温泉地の混迷をいっそう加速させる原因にもなっています。今回の研究会は日本の温浴文化を支える都市生活者のマーケットに対して、都市型温浴施設と地方の温泉地の新たな協同的産業構築化を目指し、これらエンドユーザーを巻き込んだ施策を双方の専門家によって検討することによって温浴業界全体の横串で連携したあらたなビジネスモデルの具体的な道筋を検討いたします。関係者の多くの参加を期待しています。

■参加費 健康と温泉フォーラム会員 2,000 円 一般の方 3,000 円
(当日会場受付で承ります)

■お申し込み・お問い合わせ

NPO 法人健康と温泉フォーラム事務局まで E メールまたは FAX にてお申し込み下さい。

E メール info@onsen-forum.jp FAX 03-3320-0586

NPO 法人健康と温泉フォーラム事務局宛

参加申込書

第12回月例会(2010年2月19日(金))に出席します。

●お名前

●会社名

●住所

●連絡先

TEL

FAX

E メール

■講師略歴



木地本 朋奈（きじもと ともな）

1965 年三重県四日市市で生まれ、1987 年慶應義塾大学 法学部法律学科を卒業後、大手ディベロッパー・外食運営会社のマネージャーを経て、1993 年株式会社トリオンを設立。現在、「社団法人日本サウナ・スパ協会」の評議員、「社団法人関東ニュービジネス協議会」の理事に就任。

■プレゼンテーションの背景

1. 温泉・温浴施設は、日本が誇る伝統文化・観光資源であるにも関わらず、世界や伸びゆく東南アジアなどに対して、あるべきマーケティングやパブリシティが乏しく、機会損失となっていることが多い。特に、MICE(マイス)ビジネスなど具体的な機会が多くあるにも関わらず多面的な施策が取られていない。
2. 地域活性化、少子高齢化やストレス社会、医療費やメタボリック問題、ヘルスケア需要、原則縮小の日本経済などの諸事情に対して、温泉・温浴業界が果たす社会的役割が多い。
3. 業界を取り巻く各許認可が、厚生労働省・環境省・国土交通省・総務省・経済産業省・各都道府県など多岐に渡りそれらが有機的な関連を持たないこと、ならびにそれらの諸法律が古くなってきているものが散見され時代にマッチしていないことも多く、結果としてマーケット（エンドユーザー）に対して適正なコストで、適切なサービスを提供しにくい環境にある。
4. 昨今の世界的課題である地球温暖化対策に対して、温泉・温浴施設は原単位 CO2 排出量が多いにも関わらず、産業全体としての目標設定や対策が実施されておらず、国策支援なども充実していない。
5. 温泉・温浴施設の経営は、中小企業経営が多く、市場規模に対して適正な産業構造が組成されていない。又これらの課題解決を包括的に実現する業界団体や支援団体がほとんど存在していない。

■提言-課題解決の為の新たなネットワーク研究会の提案

1. 温泉・温浴施設を日本の伝統文化・観光資源と捉え、国内での繁盛を第一義とし、更に世界に発信(観光人口としての輸入・ノウハウやサービス、ハードの輸出)していく機能を創る。
2. 大局的な観点から諸法律や各種規制の問題点を洗い出し、それらの解決手法を学習し、21 世紀社会において迅速・適切な文化創造と成長を目指す。
業界全体の足並を揃え同時に、ニュービジネスを創造し活性化させ、国策誘致を期待する。
3. 個店・個施設・個企業の利益創出を基本に、産業全体の市場規模拡大を主目的とする。
4. エンドユーザー視点での健全な競争が起こるような何らかの指標や基準(サービス度・顧客満足度・環境貢献度など)を取り入れ、広く情報公開する仕組みづくりをする。